



学校だよりの 1月号

横浜市立菊名小学校

令和6年1月10日

避難訓練で大切にしていること

校長 松瀬 歩

穏やかな元旦を迎え各ご家庭では睦まじく過ごされていた中、震度7の地震が能登半島を襲うというニュースが飛び込んできました。日に日に被害状況が明らかになり多くの人たちの苦しみが伝えられています。ご親族が被災された方もいるのではないのでしょうか。被災された方へお見舞い申し上げます。

震災が起こるたびに、自分自身の備えについて考えさせられますが、菊名小学校では、日ごろから以下の点を子どもたち、教職員が意識しながら避難訓練を行っています。

○訓練では99点は不合格、合格は100点満点のみ、おまけはなし

これは、99点の避難訓練では、実際に地震や火事が起こったときに命を落とす人がいるかもしれないので、訓練では100点満点の避難ができるようにするということです。実際の場面で、一人でも命を落とすようなことがあれば、99点ではなく0点であることを子どもも教職員も意識して取り組むようにしています。

○訓練では本番のように、本番では訓練のように

これは、言葉通り、避難訓練は実際に地震や火事が起こったときのように緊張感をもって取り組み、実際に地震や火事が起こったときには避難訓練のときのように落ち着いて行動するということです。

地震発生中の商業施設の中、航空機火災の機内の様子を映像で見る限り、集団で大きなパニックに陥らず落ち着いて行動できていたのが印象的でした。これまでに天災と向き合い防災意識をもって生活してきた日本人の気質なのではないでしょうか。

菊名小学校では、校舎建替え工事が始まり避難場所として校庭が使えない状況が約6年間続きます。11月に行われました地域の防災拠点訓練では、校庭が使えないという前提で訓練を行いました。そして今月、子どもたちが校外へ避難する訓練を行います。菊名小学校では、子どもたちの命を守るために地震・火災・不審者侵入に対しての校庭が使えない状況を踏まえながら避難訓練を毎月行っていきます。

本年も保護者の方、地域の方の変わらぬご理解ご支援をお願いいたします。